

学校名 杉戸町立高野台小学校
所在地 杉戸町高野台西5丁目16番地
電話 0480-33-3110

1 本校の概要

本校は児童数287名、1年生1クラス、2学年以上2クラス、特別支援学級2クラス、計13クラスの学校である。学校教育目標「かしこい子、やさしい子、たくましい子」に向けて、その具現化に向けた教育活動を行っている。

2 本校の実践

(1) 視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・家庭や地域との連携

(2) 概要

ア 親子読書

10月の読書週間に合わせて、本校でも「高小読書週間」として、取り組みを行っている。そのひとつが「親子読書」である。低学年は、親子で好きな本を1冊決め、家庭で親から子、または子から親への読み聞かせをする。高学年は、この方法が親子で同じ本を選んで個々に読み、読んだ感想を伝え合う方法のいずれかを選択する。それを感想用紙に記入したものを、全クラスで掲示した。読書を通じた親子の触れ合いの機会となっている。

低学年用

高学年用

読書ビンゴ

イ 読書ビンゴ

「高小読書週間」に合わせて、読書の幅を広げる目的で、「読書ビンゴ」を行っている。図書委員会が低、中、高学年毎に、読んで欲しい本のジャンルがマスに入ったビンゴ用紙を作成する。児童は、図書室でそのマスに書かれたジャンルの本を借りて読むと、返却した際に図書委員からスタンプを押してもらえる。

たて、横、ななめのいずれか1列が揃えばビンゴ達成。図書委員特製のしおりを1つもらえる。
ウ おすすめ本紹介

校長、教頭をはじめ、全職員による「先生方のおすすめ本」を図書室廊下に掲示し、図書室内に特設コーナーを設置している。また、ホームページに図書室だよりとして、毎月図書室の新刊本の紹介をしている。

エ ボランティアによるお話会

本校では、読書ボランティア「おはなしポケット」、「おはなしの森」の2団体の協力を得て、各クラスに月1回、児童への読み聞かせを行っている。

オ 国語科の学習

2年生の「お話のさくしゃになろう」、3年生の「たから島のぼうけん」の学習で作成した物語を、それぞれ1年生に読み聞かせした。作った物語を聞かせる相手がいることが学習意欲の向上につながるとともに、1年生に楽しんでもらうという上級生としての意識が高まった。

ボランティアによるお話会 2年生による読み聞かせ



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・「親子読書」の取り組みにより、普段と違う読書を通じた親子の触れ合いができた。
- ・「読書ビンゴ」により、普段は読まないジャンルの本を読む児童が増えた。

(2) 課題

児童に本を読むことの楽しさをより味わわせるためにも、良い本や話題の本等の充実と図書室内の本の更新を、限られた予算の中でいかにすすめていくかが課題である。

(3) おわりに

今後も、家庭や地域と連携を図りながら、児童の読書活動の質を向上させたい。